

<ZOOM EXPO>ポーランド 此花に壁画 パビリオン紹介



2025年大阪・関西万博に自前のパビリオンで参加するポーランドが、パビリオンを紹介する壁画を大阪市此花区の阪神千鳥橋駅近くの一般社団法人「此花工業会」の建物南壁に制作した。

同国では壁画を使った街づくりが盛んなことから、同区で壁画をプロデュースする会社「WALL SHARE」に協力を依頼。ポーランド人芸術家のアレクサンドラ・チュジャクさんが高さ約10メートル、幅約8メートルの大きさの壁画を描いた。

黄金に輝く畑に矢車草とヒナゲシが咲き、ツバメが飛び交う同国の夏の風景や、らせん状のパビリオンに着想を得た風車に少女が息を吹きかける様子が描写されている。

チュジャクさんは「ポーランド文化への理解を深めるきっかけとなり、地元の方に親しんでもらえれば」とコメントした。

8月23日読売新聞記事